

北海道社会教育委員の会議【答申の概要】

諮問

本道の教育課題

地域づくりの中で学校が果たしていく役割は大変重要であるが、教師が広範な役割を担い、業務負担の軽減など「教員の働き方改革」が喫緊の課題

地域に関わりたい、貢献したいといった地域住民や団体の潜在的な思いや力をいかに引き出し、その活躍の場をつくり出すか、その方策についての検討が必要

子どもの活動を支える持続可能な「地域コミュニティ」の形成に向けた社会教育の振興方策について

答申

現状と課題

●子どもの活動を支える地域の現状と課題（アンケート調査から）

- 各市町村では、それぞれの実情や地域の特性に応じた、子どもの活動を展開
- 活動を支える人材の確保が各市町村における共通の課題
- 様々な団体が子どもの活動を支えており、団体に対する支援が重要

●地域コミュニティの役割と社会教育の関わり

- 次世代が主体的に住みたい・戻りたい・暮らしたいと思うために、子どもの頃から地域への愛着を育むことが重要
- 子どもたちの活動を支え、子どもたちの変容に接することで、大人が変わるという循環が地域コミュニティには必要
- これからの社会教育活動は、次世代までを主体（私たち）と考え、社会や環境に合わせて変わり続けることが必要

●持続可能な地域コミュニティの形成と学校の役割と社会教育の関わり

- 働き方改革の中、かつて教員が中心であった指導者の人材が不足しているが、保護者自身や地域住民などが積極的に指導者として関わり、自分たちでもできると考えることで状況を変えることが可能
- 地域住民が自分たちのできることから、地域の子どもを育てるという役割を実践することが、地域コミュニティ形成に不可欠
- 地域において活動を進める専門人材（社会教育主事、社会教育士）の養成が重要

●子どもの活動を支える地域のソーシャル・キャピタルの醸成と社会教育の役割について

- 地域のソーシャル・キャピタルの醸成**←地域課題の解決に向かって住民が協働しているコミュニティ、次世代の育成に協力的に取り組んでいるコミュニティなどには、必ずソーシャル・キャピタル（人々の信頼関係とつながり）の存在を認めることができる
- 社会教育委員の関わり**←社会教育が活性化しているところは社会教育委員自らの活動が活発
- 公民館の取組**←公民館が地域の核となっているところは、子どもたちの活動を支える役割も充実
- 様々な社会教育活動の充実**←社会教育はまちづくり、地域づくりという視点も内在
- 社会的包摂への寄与**←外国人家庭の子どもや障がいのある子どもなど、様々な子どもたちへの対応が重要

北海道教育委員会における具体的な方策について

- 地域コミュニティとしての社会教育関係団体の活性化
- 社会教育士などの専門職の養成
- 社会教育委員の活性化
- 青少年教育事業の再構築
- 地域学校協働活動の充実

審議の経過

まとめ／振興方策